

## シリーズ「放課後子ども教室推進事業」

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン掲載))

### 【第28回】

#### 紀見小学校「ふれあいルーム」

和歌山県橋本市立紀見小学校長 宮井 利明

橋本市は和歌山県の北東部に位置し、北は大阪府、東は奈良県に接しています。霊峰高野山の麓、紀ノ川が流れる歴史と自然豊かな町です。本校の校区は大阪への通勤圏として宅地開発が進み、児童数は426名で年々増えています。

「ふれあいルーム」とは、放課後子ども教室の通称です。3年前、地域子ども教室推進事業に取り組んでいた時には、まだ地域との繋がりもなく、コーディネーターの配置も無かったので、NPO 地域サポートセンターの方にお世話になり実施しました。放課後子ども教室推進事業が始まった2年前からは、橋本市にある全ての小学校14校が放課後子ども教室を実施するようになり、コーディネーターも配置され、各教室で工夫をし、楽しみながら取り組んでいます。

本校では、年間40回の開催で、学習教室や様々な体験活動等を計画しています。開催日は、水曜日の放課後が基本です。月毎の内容を前月に知らせ、参加希望者を募ります。どの内容も参加希望者が多く、残念ながら、全員が参加できるわけではありません。人気のある内容では、参加希望者が100人を超える時もあります。

学習教室では、学習アドバイザーが用意した算数の問題に挑戦し、分からないところは教えてもらいます。体験活動では、読み聞かせ、茶道、英会話、木工工作、マット運動、スイートポテト作り、カレーライス作り等、今までにたくさんの内容を行いました。指導者としては、校区の民生児童委員さんや保護者の方にも依頼します。いつも1時間前には5~6人の方が来校し、持参した材料でリーダーの方が指導し、試作をしてから、ふれあいルームに臨んで来ています。

ふれあいルームをのぞいてみますと「校長先生、見て見て、できるようになったよ。」と、あちこちから声のとんできます。また、ふれあいルームの次の日に「昨日作ったの、床の間に置いてあるよ。」と話してくれる子もいます。子どもたちは生き生きとふれあいルームに参加し楽しんで来ています。この活動の様子は学校便りで全保護者、一部地域の方にも知らせています。

本校では、このふれあいルームが放課後における児童の活動の場として定着しています。

(初中教育ニュース (初等中等教育局メールマガジン) 第125号に掲載)